



こんにちは

市会議員

日本共産党

# 西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

戦争  
法案

## 力あわせて参議院で廃案に追い込もう!!

9条の会・醍醐9周年記念集会

## 「若者を戦場に送らない」決意新たに



講演する毛利弁護士。戦争法案廃案にむけて活発な意見が交換された

ダイゴローで「9条の会・醍醐」の9周年記念の取り組みが行われ西野市議も世話人として参加しました。ギターの弾き語りなどの後、京都南法律事務所の毛利崇弁護士による講演がありました。“「集団的自衛権」と戦争立法”と題しての講演は、戦争法案に知識のない人でも良く分かる講演で、あつという間の1時間半でした。毛利弁護士は「集団的自衛権は日本のためではなく、他国のために、他国と一緒に武力行使することです」「これまで集団的自衛権はどういう時に使われてきたの？それは戦争をするための口実でした」「これから何をしたいか。それは、しっかり学んで、しっかり声をあげること。あらゆる手段で情報発信しよう！」とわかりやすい言葉と例で説明されました。参加者からも「戦争法案が通れば、

### 市政 報告

### バイオガス爆発施設を視察 (南丹市)

日本共産党市会議員団と西野さち子市議は7月24日、京都市が横大路のクリーンセンターで計画しているバイオガス施設の安全性を検証するために南丹クリーンセンターを視察しました。南丹市では指定袋に入った可燃ごみを破碎装置に入れ、生ごみと焼却ごみに機械で分別します。京都市より分別がり進んでいる南丹市ですが、それでも問題が多そうです。

今年3月5日には、ごみに混入していた使い捨てライターに火花が引火する事故が起きました。換気装置を設置したとのことですが、現地では、「税金を使って実験しているようなもの」との声も聞かれました。京都市の焼却灰溶融施設と同じだと感じました。

京都市のごみは分別が不十分ですが「機械分別するので新たに分別の必要はない」と市は説明します。

国は、バイオガス施設の補助金の交付率を3分の1から2分の1に引き上げて誘導しています。焼却灰溶融施設と同じ、国による誘導策です。焼却灰溶融炉の二の舞にならないためにも南部クリーンセンター第2工場の新設については見直しが必要です。



### がけ崩れの現場に 急行しました!

11号台風の大雨で、がけ崩れが起き、家屋が土砂で押しつぶされるという被害が起きました。現場は左京区北白川仕伏町です。1件は屋根まで土砂で埋まっていたようですが、ここは空き家だったそうです。2件

目は土砂で家財道具は外に押し流され、隣のお宅に倒れ掛かって柱が隣の壁を破っていました。向かいのおたくは家の中は土砂でまったく住める状態ではありません。



福祉がないがしろにされる。日常の暮らしに大きな影響が出る。福祉を削って軍事費5兆円はひどい」「安倍首相は広島では非核三原則の堅持を言わなかった。批判されたからか、長崎では言った。その意図はどこにあるのか」などの質問が出されました。

区役所の防災危機管理担当や土木事務所、消防などが目に来たものの、即対応とはなっていません。大雨が降れば更なる被害が広がりま